MITSUBISHI

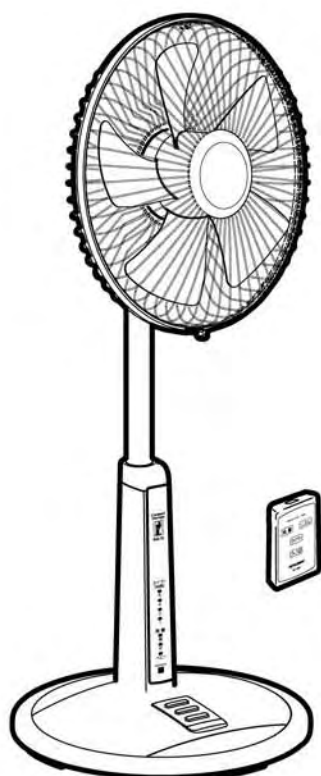
0712874HF6101

三菱扇風機 30cmリビング扇（リモコンタイプ）

形　名

R30-RJ（B）・（K）

取扱説明書

保証書付

もくじ　　ページ

●ご使用の前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
なお、お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに、同封の「三菱電機修理窓口・ご相談窓口のご案内」とともに保管してください。

●小さなお子さまが製品に触れないよう十分ご注意ください。
※羽根や首振り機構、高さ調節機構などの可動部に触れるとけがをするおそれがあります。

●裏表紙の保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめてください。

●この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠ 警告

誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねて通電しない
  また、物をのせたり、挟み込んだりしない
  (電源コードが破損し、火災や感電の原因になります)
- 電源コードやプラグが傷んだりコンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
  (感電・ショート・発火の原因になります)
- リチウム電池を幼児の手の届くところに置かない
  (飲み込むおそれがあります)
- 羽根・ガードをつけずに高さ調節ボタンを押さない
  (モータ部が飛び出してけがをするおそれがあります)
- 羽根・ガード・ベースを付けずに運転しない
  (転倒したりけがをするおそれがあります)

分解禁止

- 改造や必要以上の分解をしない
  (火災・感電・けがの原因になります)

水ぬれ禁止

- 製品やリモコンを水につけたり、水をかけたりしない
  (ショートや感電のおそれがあります)

ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
  (感電のおそれがあります)

指示に従い必ず行う

- 交流100Vを使用する
  (直流や交流200Vを使用すると火災や感電の原因になります)
- 電源プラグについたほこりは清掃する
  (ほこりが付着すると漏電火災の原因になります)
- 電源プラグはがたつきがないよう刃の根元まで確実に差し込む
  (差し込みがゆるいと感電や火災の原因になります)
- 包装用ポリ袋は幼児の手の届かないところに保管する
  (誤ってかぶったとき窒息し死亡するおそれがあります)
- 製品の組立ては取扱説明書通りに行う
  (部品がはずれてけがをするおそれがあります)

プラグを抜く

- お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く
  (通電状態では感電やけがをすることがあります)

⚠ 注意

誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止

- 本製品は一般家庭用です。つぎのところでは使わない
  温室、ビニールハウスなど湿度の高いところ、雨や水しぶきのかかるところ、室外や40℃以上の高温になるところ、ガスレンジなど炎の近く、綿ぼこりや砂ぼこりの多いところ、常に10℃以下になる低温なところ、引火性ガスのあるところ、工場内など油のつきやすいところ、有機溶剤を使用しているところ、直射日光等、強い紫外線の当たるところ
  (感電、火災、破損、故障のおそれがあります)
- 風を長時間、からだにあてない
  (健康を害することがあります)
- カーテン・障害物のそばや不安定な場所では使用しない
  (転倒や転倒による部品の破損により、けがをするおそれがあります)
- 製品を引きずらない
  (床に傷が付くおそれがあります)
- 製品組立て状態での輸送は行わない。輸送する際は箱に収納する
  (製品・部品が破損するおそれがあります)
- スライドパイプに油などをつけない
  (パイプが急に下降して、けがをするおそれがあります)

接触禁止

- ガードの中や可動部へ指や物などを入れない
  (けがをするおそれがあります。とくに小さなお子さまにはご注意ください)

指示に従い必ず行う

- 本体に異常な振動が発生した場合は、使用を中止する
  (羽根やガードがはずれて落下し、けがをするおそれがあります)
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く
  (感電やショートして発火することがあります)
- 取りはずし・組立て・お手入れの際は手袋を着用する
  (着用しないとけがをすることがあります)

プラグを抜く

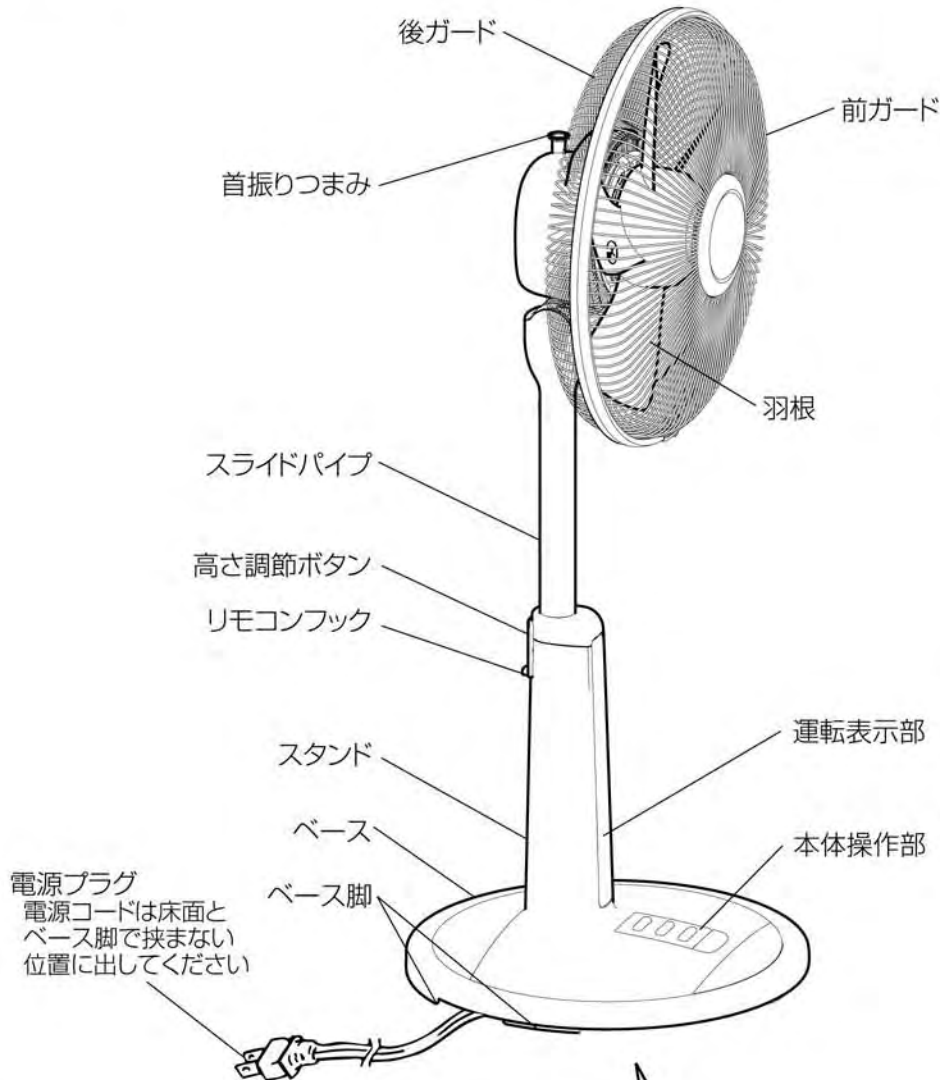
- 使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く
  (けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります)

各部のなまえと組立てかた

**この製品は、羽根、ガードが組立てられて梱包されています。
必ずベースを組立ててからご使用ください。**

〈各部のなまえ〉

後ガード
前ガード
首振りつまみ
羽根
スライドパイプ
高さ調節ボタン
リモコンフック
スタンド
運転表示部
ベース
本体操作部
ベース脚
電源プラグ
電源コードは床面とベース脚で挟まない位置に出してください

⚠警告

ベースをつけずに運転しない
(転倒してけがをするおそれがあります)

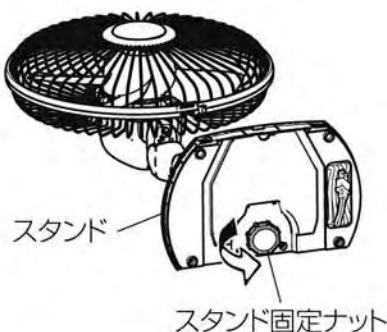
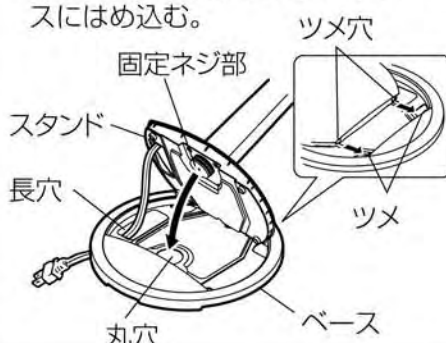
⚠注意

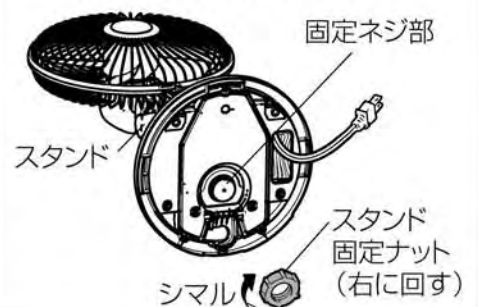
取りはずし・組立ての際は手袋を着用する
(着用しないとけがをすることがあります)

■付属部品

リモコン　リチウム電池

〈ベースの組立てかた〉

①スタンドの固定ネジ部にあるスタンド固定ナットをはずす。(左に回す)

②電源コードをベースの長穴に通し、スタンドのツメ穴にベースのツメを引っ掛け、ベースの丸穴に固定ネジ部が入るよう静かにスタンドをベースにはめ込む。

③スタンドとベースの連結がはずれないようにゆっくりと横向きにする。

④固定ネジ部をスタンド固定ナットでネジ山を合わせてかたむきのないようにしっかり固定する。

使いかた

1 電源プラグを差し込む

※電源プラグを差し込むと「ピッ」と音が鳴ります。

メモ

電源プラグがコンセントに差し込まれているときは、運転を停止していても操作部・スタンドの一部が暖かくなります。電子回路の待機時消費電力(約0.5W)によるもので故障ではありません。

2 リモコンに電池を入れる

付属のリチウム電池(CR2025)を入れる

①裏側の穴にお持ちのボールペン等を差し込み矢印の方向にスライドさせ、
②ホルダーを引き出す。
③ホルダーにリチウム電池の⊕を上側にしてのせる。
④電池をのせたホルダーを「カチン」と音がするまで押し込む。

お願い
- **指定以外の電池は入れないでください。**
- **リモコンは落下など強い衝撃を加えないでください。**

3 運転する

運転表示部を確認しながら操作する。

※ボタンを押すたびに「ピッ」と音が鳴ります。
※本体操作部とリモコンのボタン機能は同じです。
※リモコン操作は送信部を受信部に向けてボタンを押します。
※ボタンの操作は中央部を押してください。
　ボタンの端を押すと操作できないことがあります。

メモリー機能

一度設定した運転モードで再運転できる機能です。
- おやすみタイマーはメモリーされません。
- 運転中に停電したり、電源プラグを抜いたときはメモリーが解除され、再運転時はベビー運転になります。

運転をする

入/切ボタンを押す。

正　　誤

※押すたびに運転の入/切が切り換わります。
※入/切ボタンを押してからでないと他のボタン操作はできません。
※リモコンは指でボタン中央部を押してください。
　ボタンの端を押したり、つめの先などで押すと操作できないことがあります。

風量を切り換える

風量ボタンを押すごとに切り換わる。

※ベビーは中より弱い連続風です。

リズム風を使う

リズムボタンを押す。解除するときはもう一度押す。
リズム風運転中はベビー・中・強のいずれかのランプが点滅します。
※リズム風は自動制御で風量の変化をつけた風です。
※リズム風は運転と停止を繰り返しているため、ときおり羽根が止まることがありますが、故障ではありません。

おやすみタイマーを使う

タイマーボタンを押すごとに切り換わる。
運転表示部を確認しながら操作する。

- 時間の経過とともに風量・タイマーランプが移り変わり、運転状態を表示します。
- タイマー運転中に風量切り換え、またはリズム風操作をしてもタイマー残り時間は維持されます。
- セット時間が終わると、表示ランプが消え自動的に運転が停止します。
- タイマー時間は目安です。

※おやすみタイマーは時間の経過に伴い風量が図のように自動的に切り換わる機能です。

⚠注意

風を長時間からだにあてない
(健康を害することがあります)

本体操作部　運転表示部　リモコン操作部

タイマー
リズム
風量
入/切

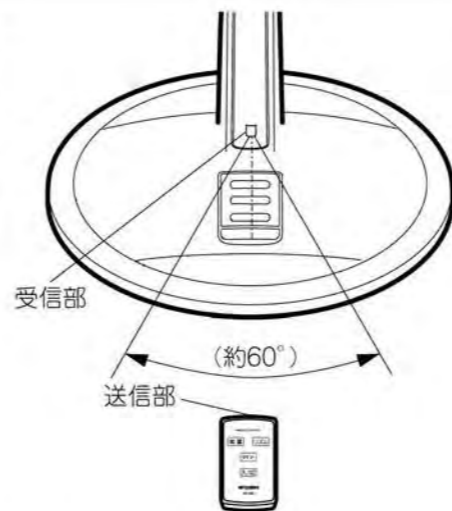
タイマー(時間)
6
4
2
1
風量
強
中
ベビー
REMOTE

REMOTE CONTROL
風量　リズム
タイマー
入/切
MITSUBISHI
RS-006

リモコン操作可能範囲

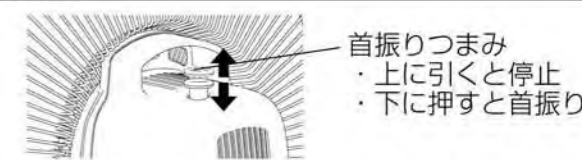
- 受信部から約4m、正面を中心に左右に約60度以内です。

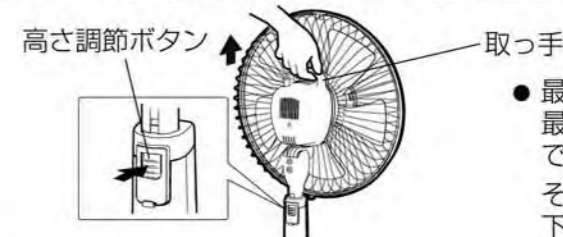
※送信部が床面に近いときは上記範囲でも操作できない場合があります。

- 感度が悪くなった場合は新しいリチウム電池(市販品:CR2025)に入れ換える。

■ 次のところではリモコン操作ができないことがあります。
- 本体受信部とリモコンの間に障害物があるところ。
- インバーター照明器具または、電子瞬時点灯照明器具を使用している部屋。
- 本体の受信部に直射日光等の強い光が当たるところ。
- テレビの近くなど電磁波の影響を受けやすいところ。

停止する

入/切ボタンを押す。

4 首振り運転をする

5 高さを調節する

高さ調節ボタンを押し、取っ手を持って上下させる。

- 最下部・中間2か所・最上部の合計4か所でロックできます。
それ以外は自由に上下できます。

6 風向きを変える

スタンド部を軽く押さえて、モータ部を上下・左右に動かす。
操作時に「カチカチ」と音がします。

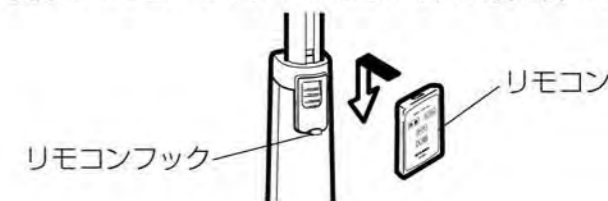
- 上下角度調節

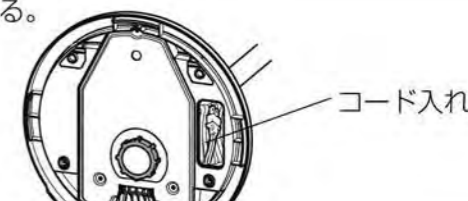
上向きに2段階、下向きに1段階風向きを変えることができます。

- 首振り中心の調節

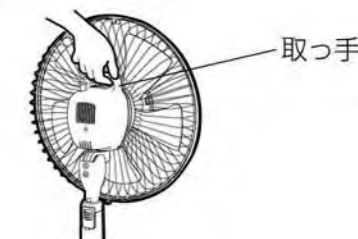
スタンド正面を中心に左右それぞれ2段階、25°まで首振り中心をずらすことができます。

7 リモコンの収納

スタンド後部のリモコンフックにリモコンの穴を引っ掛ける。

8 コードの収納

収納時はコード入れに納める。

9 持ち運び

モータ部を下に押し下げ、パチンと音がしてスライドパイプがロックしたことを確認してから取っ手を持って持ち運ぶ。

- 持ち運びは必ず運転停止状態で行ってください。

お手入れと保管

〈お手入れ〉

①前ガードはクリップをはずし、外周下部を持ち取りはずす。(クリップを引っ張ると破損するおそれがあります)

②スピンナを右に回してはずす。

③羽根は円筒部分を両手で持ち、モータ軸を親指で押さえながらはずす。(高温注意)

④後ガードをはずして清掃する場合は、ガード止めナットを左に回してはずす。

⚠警告

●羽根・ガードをつけずに高さ調節ボタンを押さない
(モータが飛びだしてけがをするおそれがあります)

●お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く
(通電状態では感電やけがをすることがあります)

⚠注意

取りはずし・組立て・お手入れの際は手袋を着用する
(着用しないとけがをすることがあります)

- 汚れは、ぬるま湯か中性洗剤に浸した柔らかい布をかたくしぼってふき、さらに乾いた柔らかい布で洗剤が残らないようにふき取る。
- モータ部のほこりは掃除機等で取る。

※可動部(モータ、首振り機構部など)への注油の必要はありません。

〈お手入れ後の組立てかた〉

①後ガードの切欠部をツメに引っ掛ける
※印同士をあわせる

④後ガードの印に合わせて掛ける

⑤両手で上から順に全周をはめ込む

⑥クリップで固定する

●前ガードはガード外周部を持って取付ける

②後ガードにがたつきのないようしっかり締め付けて固定する。

③ピンに羽根のみぞを合わせる

〈保　管〉

箱に収納する場合

1. スタンド固定ナットをゆるめてスタンドからベースをはずす。
(スタンド固定ナットはスタンドに締め付けておく)
(3ページ「各部のなまえと組立てかた」参照)
2. 製品本体をポリ袋(大2枚)に入れて収納する。
- 首を正面に向けて収納してください。
正面に向かない場合は、首振り運転させて向けてください。
3. ベースをポリ袋(小)に入れて収納する。
4. ホルダーを入れ、リモコンを収納する。

※湿気の少ないところに保管する。

箱を使わずそのまま収納する場合

⚠警告

ベースをつけずに運転しない
(転倒してけがをするおそれがあります)

⚠注意

製品組立て状態での輸送は行わない
輸送する際は箱に収納する
(製品・部品が破損するおそれがあります)

約19cm

本製品はベースを取りはずし、スライドパイプに引っ掛けることで約19cmの幅で押し入れ等に収納することができます。

1. 製品を横向きに倒して電源コードを収納し、スタンド固定ナットをゆるめてスタンドからベースをはずす。(スタンド固定ナットはベースをはずした後、スタンドに締め付けておく)
2. モータ部を正面に向けてスタンドを立たせる。
3. ベース裏側のベースホルダー先端を矢印の方向に押さえてツメからはずし、約90°の位置まで回転させる。
4. ベースをスタンドの横からガードとの間に入れ、ベースホルダーをスライドパイプに引っ掛け、静かに下に降ろす。
5. リモコンをリモコンフックに引っ掛ける。

ツメ
ベース
ホルダー
スライド
パイプ
リモコンフック
リモコン

お願い

- お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザー等けんま材入りの洗剤
(変質・変色の原因になります)
- 危険防止のため、羽根に貼り付けてある「羽根マーク」は取らないでください。
- スプレー〈掃除用、殺虫用、整髪用など〉をかけないでください。
(破損・変質の原因となります)
- お手入れの際、羽根・ガード等に強い衝撃を与えないでください。(破損するおそれがあります)
- 運転直後はモータ軸が高温になっていますので、お手入れは運転停止後30分程度待ってから行ってください。

「故障かな?」と思ったら

次のような症状があれば点検してください。
(3ページ「各部のなまえと組立てかた」、4・5ページ「使いかた」、6・7ページ「お手入れと保管」参照)点検処置をしても直らない場合、または下記以外の現象が生じた場合は電源プラグを抜いて販売店に点検・修理を依頼してください。費用については販売店と相談してください。

こんなとき	原　　因	点検・処置
運転しない	電源プラグが抜けていませんか	電源プラグをコンセントに確実に差し込む
リモコンで操作できない	電池が古くなっていませんか	新しい電池に入れ替える
	⊕⊖が逆になっていませんか	電池の向きを正しく入れる
	距離が遠すぎませんか	受信範囲内で操作する
	受信部が汚れていませんか	汚れを取り除く
運転中に異常音や振動がある	羽根にガード、ガード止めナットが当たっていませんか	ガード止めナットを緩みのないように正しく確実に締め付ける
	後ガードの向きは正しく取付けられていますか	後ガードを正しい方向に取付ける
	スピンナ、ガード止めナットが確実に締め付けてありますか	緩みのないように正しく確実に締め付ける
モータ部分が異常に熱い	ほこりがたまっていませんか	ほこりを取り除く
操作部・スタンドの一部が暖かい	電子回路の消費電力によるもので故障ではありません	
羽根がときどき止まる	リズム風ではありませんか	リズム風は運転と停止を繰り返しているため、ときおり羽根が止まることがありますが、故障ではありません
首振りが左または右に偏る	首振り中心の調節によるものではありませんか	首振り中心の調節を行う

仕　様

(強運転の場合)

形　名	電圧 (V)	周波数 (Hz)	消費電力 (W)	最大風速 (m/s)	風量 (m^3/h)	首振角度 (度)	質量 (kg)	コードの長さ (m)
R30-RJ(B)・(K)	100	50	30	3.1	2350	85	3.9	1.9
		60	34	3.1	2300			

※運転停止状態で電源プラグがコンセントに差し込まれているときの消費電力は約0.5Wです。

保証とアフターサービス

アフターサービスは、お買上げの販売店かお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」にご相談ください。

補修用性能部品の保有期間について

- 当社はこの三菱扇風機の補修用性能部品を、製造打切り後8年保有しています。
  補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保証（保証書）について

- 保証書は、所定の事項の記入および記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
- 保証期間は、お買上げ日から１年間です。保証書の記載内容によりお買上げの販売店が修理致します。
  その他詳細は、保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。

※ダウンロード版は保証書を削除しています。

☆長年ご使用の扇風機の点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか。	●スイッチを入れても羽根が回転しない。 ●運転中に異常音や振動がする。 ●回転が遅いまたは不規則。 ●こげ臭いにおいがする。 ●モータ部が異常に熱い。

使用中止	故障や事故防止のため、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。 点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客さまメモ サービスを依頼されるとき便利です。	形　　名	
	お買上げ年月日	年　　月　　日
	お買上げ店名 （住　所） （電話番号）	（　　）＿＿＿＿＿＿

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。「材質名は主材料にISO規定の略号を使用」

販売元　株式会社　三菱電機ライフネットワーク
〒135-8071　東京都江東区有明3-1-22（TFTビル東館7F）